

# 1 歳 児

## <子どもの保育目標>

信頼できる大人に見守られる中で、自分でしようとする気持ちが育ち、身近な人やものに興味や関心を持つ。

## <養護> 生命の保持

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。</li> <li>② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</li> <li>④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。</li> </ul>
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。</li> <li>・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。</li> <li>・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など、子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。</li> </ul> </li> <li>② <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士は子どもの疾病についての理解を深める。</li> <li>・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。</li> <li>・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。</li> <li>・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心安全な環境維持及び向上を図る。</li> </ul> </li> <li>③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。</li> <li>・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。</li> <li>・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。</li> </ul> </li> <li>④ <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。</li> <li>・生活リズムに合わせ適度な休息をとることができるようにする。</li> <li>・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。</li> <li>・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。</li> </ul> </li> </ul>

## <養護> 情緒の安定

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</li> <li>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</li> <li>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</li> <li>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</li> </ul>
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。</li> <li>・優しいまなざしや態度で関わる。</li> <li>・温かなやり取りや、スキンシップを心がける。</li> </ul> </li> <li>② <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。</li> <li>・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。</li> <li>・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの基盤となる基本的な信頼感を培う。</li> </ul> </li> <li>③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。</li> <li>・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。</li> </ul> </li> <li>④ <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。</li> <li>・静かで心地よい環境の下で、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。</li> <li>・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し柔軟に対応する。</li> </ul> </li> </ul>



# 1歳児 <教育> 健康

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行が確立し、行動範囲が広がる。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ いろいろな食品に慣れ、スプーン、フォークを使って自分から食べようとする。</p>	<p><b>【みててね、おいしいよ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>褒めたり、「おいしいね」などの言葉をかけたりしながら、楽しく食事ができるようにする。</li> <li>食べやすい食品の大きさや形、硬さなどに十分に留意して一人一人に合った対応をしていく。</li> <li>噛むこと、飲み込むこと、歯でかじりとることなどの経験を大切にしていく。</li> <li>好き嫌いがはっきりしてくる時期なので、苦手な食品は言葉掛けなどを工夫して徐々に食べられるようにしていく。</li> <li>手づかみから徐々にスプーンに慣れるようにし、食べやすい持ち方ができるような援助を心がける。</li> <li>背あてや足置きなどを使用して、安定した姿勢で食事ができるようにする。</li> </ul> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>楽しく食事ができるように</p> </div> <div style="text-align: center;">   </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 安心して睡眠をとる。</p>	<p><b>【ふんわりウトウトいい気持ち】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の睡眠リズムを把握し、子どもの生理的なリズムに沿った生活ができるように対応していく。</li> <li>・ 手を握る、体に優しく触れるなど、安心して眠りに入れるよう一人一人に合わせたスキンシップをとる。</li> </ul> <p>※ 睡眠中の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明は、睡眠時の乳幼児の顔色が観察できるくらいの明るさを保つ。</li> <li>・ 乳幼児の傍を離れない。機器の使用の有無に関わらず、必ず職員が傍で見守る。</li> <li>・ 仰向け寝を徹底する。(医師がうつぶせ寝を勧める場合を除く)</li> <li>・ 睡眠時チェックをきめ細やかに行い記録する。 (姿勢、顔色、呼吸の状態、体温)</li> <li>・ 厚着をさせ過ぎない、暖房を効かせ過ぎない。</li> <li>・ 保護者と緊密なコミュニケーションを取る。</li> </ul> <p>「保育施設における睡眠中の事故防止及び救急対応策の徹底について」 東京都福祉保健局少子社会対策部通知より</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       睡眠時チェックを行う     </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 言葉をかけられて便器に座り、排尿する。</p> <p>○ 保育士に手伝ってもらいながら、衣服の着脱をしようとする。</p>	<p><b>【おしっこでるかな】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕草や動作を見逃さず、一人一人の排尿間隔を把握し時間に捉われることなく誘っていく。</li> <li>・ おむつが濡れている時には、「きれいにしようね。」と声をかけながら交換し清潔になる心地よさを子どもが経験できるようにしていく。</li> <li>・ 便器で排尿できた時には、「おしっこでたね。」など、声をかけることで子どもが排尿したことを感じられるようにする。</li> </ul> <p>※ おむつ交換のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排便の時は性状、回数、混入物、時間などよく見て体調を把握する。</li> <li>・ おむつ交換をした時は石鹸で手を洗う。</li> <li>・ おむつ交換は、清掃、消毒がしやすくプライバシーに配慮できる一定の場所で行う。</li> </ul> <p><b>【自分で！やって】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分でやろうとした時は温かく見守り、「やって」と来た時には一緒に手伝うなど、タイミングよく援助していく。</li> <li>・ できた時には、それが喜びになるような言葉掛けをしていく。</li> <li>・ 一つ一つの動作に言葉を添えたり、保育者との触れ合いを楽しみにしたりしながら着脱のやり方を知らせていく。</li> <li>・ 家庭と連絡を取りながら、脱ぎ着しやすい服、靴などを用意してもらう。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px 20px; display: inline-block;">タイミングよく援助する</div> </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 自由に体を動かす。 (登る、降りる、くぐる、押す、引っ張る)</p> <p>○ 歩行が確立する。</p> <p>○ 保育士の言葉かけで、危険なことが分かり始める。</p> <p>※ 災害時の対応</p>	<p><b>【なんだろう、やってみたいな】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探索活動は、危険のない範囲で行きたいところへ行き、やりたいことができるように見守っていく。</li> <li>・ 子どもの興味や関心に合わせて、全身を使ういろいろな遊びを保育士と一緒に楽しむ。</li> <li>・ 遊具や玩具の点検、危険物の排除など、子どもが安全に活動できるよう環境を整え、工夫する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">興味に合わせた設定で子どもと一緒に楽しむ</p> <p><b>【歩くことを楽しむ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外で遊ぶ機会を多くし、起伏のある場所や斜面、階段の昇り降り、追いかっこなどの遊びに誘う。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p><b>【あっ！あぶない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危ないことは、言葉や表情でその都度繰り返し伝えていく。</li> <li>・ 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士声をかけ合いながら、子どもの安全確保をすると共に、安心させるような表情や声掛け、スキンシップを心がける。</li> </ul>



# 1歳児 <教育> 人間関係



<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの大人や子どもに関心をもち関わろうとする。</li> </ul>	
内容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 保育士との信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができる。</p>	<p><b>【先生いるよ、だいじょうぶ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ制や担当制など、できるだけ少人数で過ごし、特定の大人が関わることで、信頼関係を深められるようにしていく。</li> <li>自我が芽生え「イヤイヤ」と、だだこねをする姿が出てくる時期なので、保育士は穏やかな心をもって接し子どもが気持ちを立て直せるようにしていく。</li> <li>甘えたい、独占したい気持ちが強くなる時期なので、子どもの欲求を汲み取りタイミングよく応えていく。</li> <li>スキンシップや温かい言葉かけを大切にする。</li> <li>子どもの身振り手振りからも気持ちを汲み取って共感し、言葉にして返していくことで子どもが安心して気持ちを表せるようにする。</li> <li>子どもを待たせたり戸惑わせたりしないように、保育士同士が連携をとる。</li> </ul>
  	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">             穏やかな心で接する           </div>	

## <教育> 人間関係

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身の周りの大人や子どもに関心をもち関わろうとする。</p>	<p><b>【ぼくもほしい わたしもほしい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉が未発達なため、手をだしたりかみついたりすることもあるので、子どもの思いを汲み取り行動を予測して、未然に防げるようにする。その際、保育士は声のかけ方やトーンに留意する。</li> <li>・ 指さしなど、子どもが人や物に関心を示す場面を見逃さず、相づちを打ったり「○○ね」と言葉に変えたりして、気持ちを汲むようにする。</li> <li>・ 子どもに対して常に声をかけるのではなく、見守ることやアイコンタクトも大切にしていく。</li> <li>・ 玩具等を独り占めしたくなる時期なので、同じ種類や数量を揃えるなどの配慮をする。</li> </ul> <div data-bbox="967 898 1374 1305" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="662 1361 1050 1760" data-label="Image"> </div>






## 1歳児 <教育> 環境

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの様々なものに触れ、外界に対する好奇心、関心をもち探索活動をする。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に関する好奇心、関心をもち探索活動をする。</p>	<p><b>【いいものみつけた！】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発見や感動に「きれいだね」「なんだろう、ふしぎだね」と保育士が共感することで、興味や関心の幅を広げていけるようにする。</li> <li>玩具は気に入ったものが使えるよう、子どもの手が届くところに置き、いつでも出したり入れたりすることが楽しめるようにしておく。</li> <li>一人一人が充実して遊べるように場所の広さや動線、空間のつくり方に配慮する。</li> <li>玩具や遊具などは、その時々の子どもの興味や発達に合った安全で質の良い素材のものを選ぶ。</li> <li>探索活動が存分にできるよう一人一人の安全を見守ると共に、担任同士は全体にも目を向け連携をとる。</li> <li>危険という概念がないので、「危ない」「ダメ」と必要以上に遊びや活動を止めなくて済むような環境を用意する。</li> <li>触れ合い遊び、手遊び、わらべうた遊びなどを通して、子どもと楽しさを共有する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>触れ合い遊びを大切に</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>自分で取り出せる環境</p> </div>

## <教育> 環境

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 毎日の生活の繰り返しの 中で自分の持ち物や場所 が分かる。</p>	<p><b>【あった！あったね】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども一人一人を大事にし、安心して過ごせるように子どもが 分かりやすいマークをつける（ロッカー、いす、靴箱など）</li> <li>・ 一定の場所で食事・睡眠をすることで、安心して生活ができるよう にする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">             安心して生活ができるように           </div> </div>

# 1歳児 <教育> 言葉

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士の語りかけや片言で話すことを喜ぶ。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士の語りかけや片言で話すことを喜ぶ。</li>   <li>○ 絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li>   <li>○ 保育士と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>	<p><b>【伝えたい気持ちを大切に】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが何を言おうとしているか、気持ちに寄り添い言葉にならない仕草や発語を受け止め理解し言葉を補って返していく。</li> <li>・ 子どもが話そうとする姿をゆっくりと見守り、安心して話せるようにする。</li> <li>・ 生活に必要な言葉や体の感覚から感じる言葉を日常の生活の中で意識的に使い伝えていく。</li> </ul> <p><b>【先生の膝だいすき・ぬくもりと共に】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが気に入った絵本は、何度も繰り返し読み、言葉そのものの音やリズムの響きがもつ面白さを感じられるようにする。</li> <li>・ 絵本を読む時には子どもを膝の上や横に座らせ、ゆったりとやり取りを楽しめるようにする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;">   </div> <p><b>【先生、もう一回】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手になってもらった喜びを感じることができるよう子どもの気持ちに応じて一対一で話したり聞いたりする場を多くもつようにする。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

# 1 歳児 <教育> 表現

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士と一緒に様々な素材に触れて楽しむ。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士と一緒に、水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。</li> </ul>	<p><b>【何だろう、触ってみよう】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探索活動を十分に楽しみ、いろいろな素材に触れられるよう安全な環境を整える。</li> <li>・ 子どもが発見したことや驚きを受け止め、共感しながら一緒に楽しむ経験を積み重ねていけるようにする。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     いろいろな素材に触れ共感しながら一緒に楽しむ                 </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活や遊びの中で保育士のすることに興味をもち模倣することを楽しむ。</li> </ul>	<p><b>【先生と一緒に】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な生活を再現して見せたり興味をもてるようなきっかけを作ったりして一緒に楽しく遊ぶ。</li> <li>・ 子どもは身近な大人をモデルとするので、日頃から動きや物の扱い方、言葉遣いに気を付ける。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>	<p><b>【リズムにのって】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わらべうた遊びや体操などを保育士も一緒に楽しんで行う。</li> <li>・ 一人一人の気持ちを受け止め、子どものタイミングを見極めて誘い、表現する楽しさを感じられるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士に見守られて、玩具や身の回りの物で一人遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	<p><b>【一人でじっくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達に邪魔されず、一人遊びが十分できるような場を保障し見守っていく。</li> <li>・ 一人一人の遊びを大切にし、保育士を求めてきた時には要求に応えるようにする。</li> <li>・ 子どもが一人でじっくり遊んでいる時は、言葉をかけ過ぎないように気を付ける。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>